

平成 30 年 8 月

関係各位

全国中学校理科教育研究会
会 長 山 谷 安 雄
第 66 回全国中学校理科教育研究会秋田大会
運営委員長 渡 邊 政 志

第 66 回全国中学校理科教育研究会

第 46 回東北理科教育研究協議会

第 47 回秋田県理科教育研究大会

秋 田 大 会

一 次 案 内

主催

全国中学校理科教育研究会
東北理科教育研究協議会 秋田県理科教育研究会

後援 (申請中)

文部科学省	国立研究開発法人科学技術振興機構
全日本中学校長会	全国小学校理科研究協議会
日本理化学協会	日本生物教育学会 日本地学教育学会
秋田県教育委員会	秋田市教育委員会
秋田県中学校長会	秋田市中学校長会

協賛 (申請中)

(公社)日本理科教育振興協会	(公財)東レ科学振興会
(公財)ソニー教育財団	(公財)秋田県教育公務員弘済会
日本教育用理科機器協議会	
(公財)齋藤憲三・山崎貞一顕彰会	

《研究主題》 理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、
豊かな未来を切り拓く理科教育 (案)

《大会主題》 自然と人間の調和を目指し、未来を創造する力を育む理科教育 (案)

《開催期日》 平成 31 年 8 月 8 日 (木) ～ 8 月 9 日 (金)

《開催会場》 ホテルメトロポリタン秋田 アトリオン ALVE (アルヴェ)

【研究主題】理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、
豊かな未来を切り拓く理科教育（案）
【大会主題】自然と人間の調和を目指し、未来を創造する力を育む理科教育（案）

【大会主題設定にあたって】

現在の社会はいわゆる知識基盤社会であり、情報インフラの整備や技術革新によって、情報化やグローバル化が進み、社会生活には多くの、そして大きな変化がもたらされている。インターネット上では様々なサービスが展開され、社会構造や他者との関わり方にも影響を与えるようになってきている。そのため社会は加速度的に変化しており、将来を予測することは困難である。一方、これまでも社会全体の問題として取り組まれてきた少子高齢化や、大雨による河川の氾濫や地震といった大規模な自然災害など、喫緊の課題も山積している。これらの解決には、これまでにはなかった未知の問題に対して科学的に探究し、その対策を考え、実行できる人材が必要である。

このような状況を踏まえ、新学習指導要領の中学校理科では、自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指している。

第 66 回秋田大会は、新たな研究主題「理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育（案）」のもと、研究実践を進める初年度となる。理科における資質・能力を育んだ子供は、自然の事物・現象に強く興味や関心を持ち、自然と人間の調和を意識するようになることを考える。将来の予測が困難な現代においても、自然の一部である人間は、自然との調和なしに持続可能で豊かな未来を切り拓くことはできないからである。そこで、「自然と人間の調和を目指し、未来を創造する力を育む理科教育（案）」を大会主題とし、4つの日本ジオパークを擁する自然豊かな秋田を会場に、全国中学校理科教育研究会を開催したい。

【開催期日・会場】 平成31年8月8日（木） ～ 8月9日（金）
ホテルメトロポリタン秋田 アトリオン ALVE（アルヴェ）

【日 程】

1日目 8月8日（木）

8:30 9:00 10:30 11:30 12:00 13:30 14:30 15:30 17:00

役員 受付	役員 会	理 事 会	写 真 撮 影	昼 食 休 憩	ブ ロ ッ ク 会 議 一 般 受 付	開 会 式	文 部 科 学 省 講 演
----------	---------	-------------	------------------	------------------	--	-------------	---------------------------------

（18:00 よりレセプション）

2日目 8月9日（金）

8:30 9:00 12:30 13:30 15:00 15:30

受 付	分 科 会	昼 食 休 憩	記 念 講 演	閉 会 式
--------	-------------	------------------	------------------	-------------

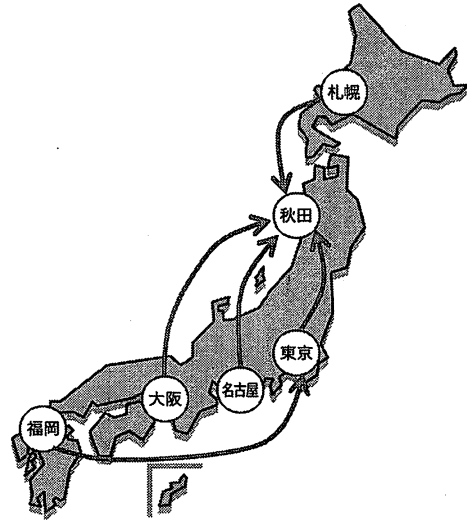
※ 8月10日（土）にエクスカッション（教育視察）を予定しています。

【秋田への主なアクセス】

<飛行機で>

- ・羽田空港から 約1時間 5分
- ・伊丹空港から 約1時間30分
- ・新千歳空港から 約1時間
- ・中部国際空港から 約1時間20分
- ・福岡空港から
羽田空港行 約1時間40分
(その後 秋田空港へ)

秋田空港からのリムジンバス	
秋田空港～秋田駅西口	35分
秋田空港～県庁市役所前	45分



<鉄道で>

- ・東京駅 から秋田駅まで 最速3時間37分（秋田新幹線「こまち」／仙台・盛岡経由）
- ・新大阪駅 から秋田駅まで 約7時間（東海道新幹線～秋田新幹線「こまち」）
- ・新函館北斗駅から秋田駅まで 約4時間30分
- ・名古屋駅 から秋田駅まで 約6時間（東海道新幹線～秋田新幹線「こまち」）
- ・仙台駅 から秋田駅まで 最速2時間5分（秋田新幹線「こまち」／盛岡経由）

<自家用車で>

- ・東京都内から （東北自動車道、秋田自動車道経由） 約7時間30分
- ・仙台宮城ICから （東北自動車道、秋田自動車道経由） 約3時間

<高速バス・フェリー>

- ・東京都内と仙台から高速バスが利用できます。
- ・苫小牧港・新潟港・敦賀港（新潟港経由）から秋田港への航路があります。

【連絡・問い合わせ先】

第66回全国中学校理科教育研究会秋田大会運営委員会

運営委員長 渡邊 政志（秋田市立飯島中学校長）

〒010-0911 秋田市飯島字田尻堰越48

TEL：018-846-3481 FAX：018-846-3482

E-mail：watanabe-masashi@edu.city.akita.akita.jp

事務局 長 進藤 義明（秋田市立御所野学院中学校教諭）

〒010-1413 秋田市御所野地蔵田4-1-1

TEL：018-889-8330 FAX：018-826-0200

E-mail：shindou-yoshiaki@edu.city.akita.akita.jp

第66回全国中学校理科教育研究会秋田大会へ、どうぞおいでください。

【分科会】(案)

分科会名	分科会主題と視点
第1分科会 教育課程	理科の資質・能力を育み、豊かな未来の創り手を育成する教育課程 ①理科を学ぶことの意義や有用性が実感できる教育課程 ②知識及び技能を活用する力を高める教育課程 ③計画的、系統的に思考力、判断力、表現力等を育成する教育課程 ④中学校3年間を見通し、学びに向かう力や人間性等を育む教育課程
発表担当ブロック	東北 関東甲信越 東京 近畿 中四国
第2分科会 学習指導	探究の過程を通し、科学的な思考力、判断力、表現力等の育成を図る学習指導 ①科学的方法で探究することへの意欲・関心を高める学習指導 ②科学的な見方・考え方を十分に働かせる場面を設定した学習指導 ③自然の事物・現象に関わり、自ら問いを発する生徒を育む学習指導 ④探究の過程を振り返り、自ら学びを深める力を育む学習指導
発表担当ブロック	北海道 東北 東京 中部 近畿
第3分科会 観察・実験	理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を育む観察・実験 ①自然の事物・現象に対して興味・関心をもたせる観察・実験 ②理科の見方・考え方を働かせて計画、実施する力を育む観察・実験 ③見通しをもって取り組む力を育てる観察・実験 ④結果を分析して解釈し、根拠をもって考察する力を育む観察・実験
発表担当ブロック	北海道 東北 中四国 九州 私立・国立
第4分科会 環境教育	自然体験を通し、自然と人間の調和を目指す態度を育む環境教育 ①自然体験を通し、自然環境への興味・関心を高める環境教育 ②自然の事物・現象に主体的に関わろうとする力を育む環境教育 ③他教科・他領域と連携する、横断的な環境教育 ④自然を総合的に捉え、自然と人間の調和を考えさせる環境教育
発表担当ブロック	東北 関東甲信越 東京 中部 近畿
第5分科会 学習評価	主体的・対話的で深い学びを通し、豊かな未来を切り拓く力を育む学習評価 ①理科の有用性を実感し、科学的に探究する意欲が高まる学習評価 ②見通しをもって科学的に探究できる力を育む学習評価 ③獲得した資質・能力を生かし、深い学びへと導く学習評価 ④探究の過程を通して豊かな未来を切り拓く力を育む学習評価
発表担当ブロック	北海道 東北 関東甲信越 九州 私立・国立

【講演】

文部科学省講演 講師未定
記念講演 秋田大学大学院教育学研究科
教授 林 信太郎 氏